

幼児の絵本理解の深まりについて

堀内康人・一ノ瀬和子・井戸裕子

(昭和56年9月30日受理)

How Infart deepen the Understanding of Picture Book.

Yasuto HORIUCHI, Kazuko ICHINOSE and Yūko Ido

(Received September 30, 1981)

まえがき

幼児が美しい絵に限らず美的保育環境の中で生活し、保育されることが、美に対する豊かな感受性と理解の基礎の形成に深いつながりをもっている。そこで以前われわれは幼児に絵を見せ、幼児はそれをどのように感じとっているか、幼児の言語表現を分析研究した。(紀要No. 18) このたびはそれを発展させ、字のない絵本を使用して研究することにした。字のない絵本に関しては幼児の言語発達、幼児保育の実践的問題などに関連して多くの現実的課題がある。本研究はその課題の一つに答えようとするものである。

研究目的

幼児が絵本をただ一度見て楽しむだけでなく、同じものを繰り返し見て楽しむようにさせることは、その絵本が適切に選択されあらゆる角度から見て好ましいものであるとある程教育的に必要なことである。

われわれは前研究において谷内こうた『ぼくだけのにんぎょう』を取り上げ、それに対する幼児の話し(言語表現)をいろいろな角度から検討分析し、それをどのように理解したかについてまとめたが、この研究では引続き2度にわたり話させ、それを比較検討し幼児の理解の深まりの種々相を明らかにしたい。

研究方法

1. 使用した絵本について

谷内こうた作『ぼくだけのにんぎょう』出版社 至光社(第12回ボローニア国際絵本展グラフィック賞受賞)
・絵本にある字について

原本には第1画面右頁に「じいー」第2画面右頁に「じいー」第11画面左頁に「かちっ」という字が3個所に書いてあるが、3個所の字は除去して子どもに見せることにした。

2. 被験児 5歳児12名(内男児4名、女児8名)

3. データー収録期間

第1回昭和52年11月29日~12月20日 週1日数名ずつ

第2回昭和53年2月29日~3月7日

第3回昭和53年3月4日~3月16日

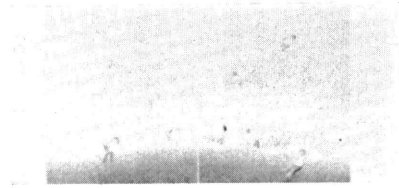
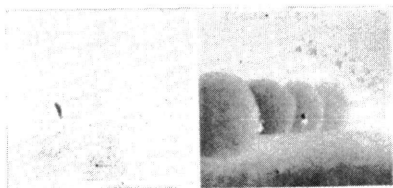
4. 手続

被験児を1名ずつ部屋に入れ、幼児に親しまれている実験者が表紙の題字と一緒に読みながら次の指示を与える。「この絵本を見ておはなしをして下さい」「おはなしがすんだら次の頁をご自分でめぐりなさい」といい、子どもの疑問や質問には答えない。実験助手は観察記録をしながら、幼児の発言をテープに収録し、分析の基本データーを作成する。

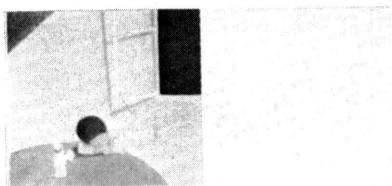
結果ならびに考察

〔1〕各画面がストーリーとしてつながっているという絵本理解の深まりについて、(主として各画面に対する出だしの言葉を中心に)

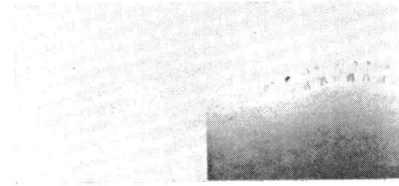
幼児が一画面の話しを終えると次の頁をめくりながら“そして、そいで……”といいながら次の画面の話しを始める。“そして、そいで”が“そしたら、そいでまた”と微妙に変化したりする。またそのようなつなぎの言葉は使われないが、話している内容から明らかにつながり(ストーリー)を意識して話していることがわかる。こうした問題が「各画面がストーリーとしてつながっているという絵本理解の深まり」ということである。



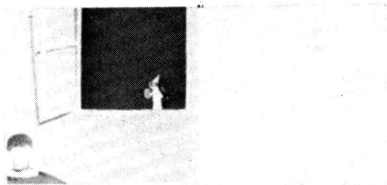
7



1



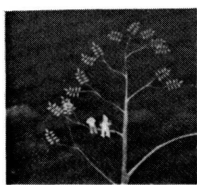
8



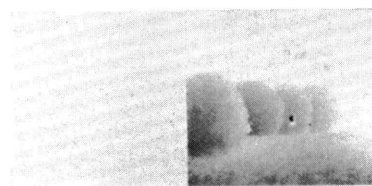
2



9



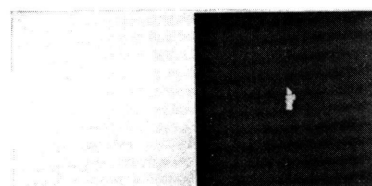
3



10



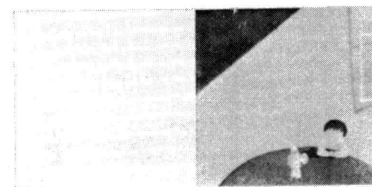
4



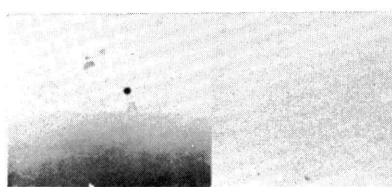
11



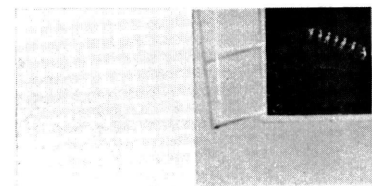
5



12



6



13

幼児の絵本理解の深まりについて

I.K ♂

テープ再生記録の一例

画面	1 回目 '78. ⅞	2 回目 '78. ⅝	3 回目 '78. ⅝
1	子どもが人形をおいて寝た。人形が動いてバーンバーンてたいた。そして子どもが目をさまして、おきたら「夢かなー」と思ってまた寝た。でもドンドンバンバンたいて来ないから仲間達が窓あけて来て星にみんなもどった。	僕達が寝てる、それでお人形が立ってる。そうして窓があいてる。お人形が立っていると、だんだん夢をみて、人形が動いている夢をみた。	僕は寝てだの。それで窓があいてた。それで目がさめた。
2	そいでよく見てみたらまたおきて、星に帰るところだったのに、目をさまして「おもちゃが動いてる」っていった。仲間達はもう帰っているから帰ろうとしたんだけど「もう出よう」っていった	それで目さめたら夢じゃなくて、ほんとにうんと夜の月の方にいったの。	小人が出ていくところだった。それでほくも小人の背中になって木の所までいった。
3	そして僕をつれて来て木にのっかって遊んでた。	それで木にのぼってつれてってもらったの。「暗くて寒いよ」っていったの。「じゃもっとあったかい国につれてって行ってあげる」っていった。	それでバーンバーンってたいて、歌とか教えてもらった。それで僕もおもしろくなって「歌をもっと聞きたい」といったら「お月様のところへ行こう」って言ってつれてってもらった。
4	そいで朝になったら芝でかけっこしながら遊んでいる。	それでここあったかい国に来たの。そしてかけ足ごっこして、うんと、「またまけた」っていつているうちに、仲間が来た。	そしたらきれいだった。お月様のところ、明るくてそれで僕がけって遊んだら、急に疲れて休んでた。
5	そしてよく見ていたら仲間が降りて来た。「もう帰ろう」っていった。	ラッパをもっているひとりの男が来た。「あれは誰」って僕が言った。そしてお人形が「僕の仲間だよ」って言ったの。	そしたらまた小人がラッパをもって来て「歌をうたてよ」って言った。
6	それで一緒に帰っていっちゃった。	そしていろんな仲間が来た。ひとり、ふたりってかぞえてる。うれしいってうれしがって音楽をはじめた。	そしたらもう1つ来てそれで小人がバーンバーンってたいてうれしかった
7	そしてまた仲間をつれて来て踊りとかをはじめた。	いろんなバンバンカチカチうるさいなって聞いている。ブーブーランラン	そしたらうんとみんな来たの。それでかぞえきれないくらい来た。
8	それでオルガンとか弾きながら歩いていった。	僕がお人形の2番目についていて、ラッパをふいてももらったり、音楽をしてくれてうんとどっかに行くのかついていてみた。	そしてみんなと歩いてうーんとむこうの方までいった後を見てる。ガチャガチャバンバンうるさいけど、おもしろくって聞いたら
9	それでまた仲間達は空へ行っただけどわざといかなかった。	そしたら仲間達が急に上に帰っていった。	小人達がドンドン上にいってこの小人も上に行っちゃった。
10	ずうっといっちゃったけどおもちゃが一人で行った。	あのお人形もいなくなって上、お空をみてたらどんどんいっちゃった。	それでもう小人はあっちにいっちゃって僕もいって、
11	この子どもがいなくなったからさがして夜になった。	お人形はカチカチやって歩いていってお空にとんでいっちゃった。	まってっていったけど、あっちにいっちゃった。
12	それでまた目をさましたら夢だった。	それでおきたら夢だったのわかった。	ここで目さめたら夢だった。それで僕はまたねた。
13	それでまた仲間達がとんで来た。それで星の方に帰っていった。	それでうんと、月の方へうんと音楽しながら行っちゃった。	それで僕はお空ながめてた。夢でみた小人達がならんで上にいった。

画面	1 回目 '77. %	2 回目 '78. %	3 回目 '78. %
1	男の子が寝てる時おもちゃの小人が来た。	男の子ひとり、夜テーブルの所で寝ていました。ひとりの人形も立っていました。	あるところにひとりの男の子が考えごとをしていました。ひとりの人形と一緒に、ひとりごとをいっていました。
2	おもちゃの小人が窓の所あけてのった。	その人形が動き出すと、男の子が目をさしました。人形は窓の所へ行きました。男の子はそれがおもしろそうですと見ていました。	男の子がふと気がつくと、小人は窓があいていたので窓の所にいました。男の子はそれをみました。
3	それで木の上ののった。	ひとりの人形が男の子にいました。「ねえー遊ば」ってしていました。	ひとりの人形、男の子と一緒に木の上に登りました。木の上はとってもいい気持でした。
4	それで朝になった。朝になって子どもがおいかけてくる。	それで朝になりました。人形と男の子は遊びました。	そいで朝になって二人でかけっこをして、遊びました。最初に小人が走りしました。そのあとから男の子が走って行きました。
5	そうしたら人が空から落ちて来たそれで2人は見た。	それで空の方から、又ちがう人形がやって来ました。男の子は、それを見ました。人形もそれを見ました。	ひとりの小人がまたひとりやって来ました。笛をふきながらやって来ました。小人と男の子はそれがどうしてやって来たのかを見ていました。
6	それで1人寝るようになって落ちて来た。それで、おもちゃの小人は何かたいたっている。	それからまた人形が空からおちて来ました。男の子とひとりの人形はびっくりしてよく見ていました。	あとからもちがう様な小人が空から来ました。男の子はそれをみてびっくりしました。
7	それでいっぱいの人がおりて来た。	それからいろんな人形が沢山空からおこって来ました。男の子はそれをじっと見ていました。それから人形は音楽を出しました。	それからいっぱい同じような小人が空からおちて来ました。タイコをやったり、ピアノをひいて来たり、男の子はそれが楽しくて自分も手をはたきました。
8	それでみんな並んでどっかにいった。	みんなそろって森の方へ行きます。男の子はどこへ行くのかなあと考えていました。	みんな並んで森の方へ歩いていきます。男の子は小人がどうやって空から落ちて来たのかととても知りたかったのです。
9	それで森の方に向って行った。そうしたら降りて来た子どもがまた空に行った。	だんだん木が見えて来ました。5人の人形はお空へだんだん上って行きました。男の子はそれを知らずどんどん歩いて行きました。	それで空からおちて来た人形は空へ空へと歩いて登って行きました。男の子はそれを知らずに森の方へ歩いていきました。
10	それで子どもがその空に行った子どもをずっと見てた。	それで男の子が人形達が上に行くのに気がつきました。それをじっと見ていました。ひとりの人形はかまわず森へ行っていました。	やっと気がついて、ひとりの小人は森の方へと歩いていきました。男の子は空からおちて来た小人をさびしくなったので、じっとみていました。小人はずんずん、ずんずんと森の奥に行きました。
11	それでそのおもちゃの小人は森の中ずんずん行った。	人形がひとり、森の方へ行くともう夜になってしまいました。人形はみんながいなくなったのを知らずにどんどん前へ歩いていきました。	そしてねじ巻の小人はひとりですらずに森の中を歩いていきました。
12	それでまた家の中にもどった。	男の子と人形はそういう話をしていました。	それを「いって」いた。「そんなことをやってたな」ふっと目をあけて、あたりを見ました。そこはお家の中でした。
13	それで空に行った小人はまだ空にいた。	そうしたらそういう人形達が空を歩いていました。男の子と1人の人形はじっとそれを見ていました。	お家の中では、また窓があいていました。ちょっと外を見ますと思い出しそうな小人達が見えるような気がしました。

幼児の絵本理解の深まりについて

I.N ♀

テープ再生記録の一例

画面	1 回目 '77. ⅔	2 回目 '78. ⅔	3 回目 '78. ⅔
1	お人形と男の子がいる。窓があいている。夜かと思う。おもちゃのお猿に似ている。	夜、男の子が寝むって、おもちゃがシンバルをたたいていました。	男の子は夜、寝ていました。おもちゃの男の子がシンバルをたたいています。
2	おばけみたいね、どうして目がないの おもちゃがねじまいたのかな？ 男の子が目さましておきた。	男の子がおきておもちゃがうごいて、窓の所にいったの。	男の子は目をさまして、おもちゃの人形が窓に登っています。
3	木の上で何やってんのかな？ 何してるのかわからない。音楽やってるのかな？一人で音楽やってるのかな？	おもちゃと男の子は木にのぼってシンバルをたたいています。	男の子とおもちゃの人形は木に登って、おもちゃの人形がシンバルをたたいています。
4	男の子小さいんだね。男の子とおもちゃが何やってるの？ 音楽やってるの？	空とんでるの？ 男の子とおもちゃはシンバルをたたきながら歩いていきました。	男の子とおもちゃの人形が遊んでいた時、おもちゃの人形が空を少しとんでいます。
5	ラッパ吹いている男の子はこんなに小さいんだね、お人形さんが音楽をまたやっている。	空からまたほかのおもちゃがやって来た。そしておもちゃと男の子が上をみて空をみてたの。	空からまた別の人形が下において来て、男の子とおもちゃの人形がお空から来るのをみえています。
6	なんだろうこれまたおいて来た。なんだったっけ。みんなで楽隊するのかなあ？2人おいてきた。	またほかのおもちゃがお空からやって来て、やって来た。あつふきながらやって来て、やって来たの、トランペット、そして男の子のおもちゃは上みた。	またほかのおもちゃが空からやって来て、おもちゃの人形はシンバルをたたいて空をみえています。
7	わかんなくなったなあ？ えっとえっと？ ピアノ、ラッパ、ピアノにラッパかな？ ラッパにタイコ、皆でやるのかなあ？	みんながお空からやって来て、一緒に楽隊をした。	いろんな人がみんなお空からやって来ました。そしてみんなで楽隊をやります。
8	それからひとり、ふたり、3人、4人5人、6人、7人、8人、9人、全部で9人	歩きながら楽隊をしていった。	歩きながら楽隊をひいています。
9	とんでる、皆でとんでる、皆で音楽やるのだろうか？ わからない。	それでまたおもちゃ達はお空へ帰っていった。それから男の子とおもちゃはまっすぐいった。	歩きながらおもちゃ達と一緒に歩いていたらまたほかのおもちゃ達が空に帰っていききました。
10	ありや、みんな帰るのかな？	男の子は「さようなら」といいながらさようならした。	男の子はほかのおもちゃ達をながめながら帰って行きました。
11	みんな帰ってまたもどりのところへ行くのかな？ 一人だけでやっている	夜になっておもちゃが立ったの。立って男の子が寝た。	夜おもちゃのシンバルの人形がひとりでシンバルをたたいています。
12	おわりじゃないね、ここにおいて、また、寝るのかな？ 夢かなと思う。夢じゃないかな？ ありやまたもどりの人形になった。男の子がねじをまわしたのだろうか？ わからない？	そこへ男の子が目さまして、また、おもちゃをみつめた。	夜、男の子はおもちゃの楽隊をみえます。シンバルをたたいています。
13	また、天国に帰るのかな？ 7人でお家へ帰るのかな？	それで、おもちゃ達が帰る。お空へ帰った。	それで男の子はおもちゃ達が帰っているのをみえています。

I.K 号

テープ再生記録の一例

画面	1 回目 77. ⅔	2 回目 78. ⅔	3 回目 78. ⅔
1	夜、窓から小人が入ってきたので子どもはびっくりして「あっ小人だ」っていった。	ある日このぼうやが寝てたら、窓から小人が入って来た。そしてぼうやがおきて見たらびっくりした小人がいたから。	ある時、男の子が寝てたら窓から人形が入って来た。そして「君はだれだいて」この男の子は聞いた。
2	そして小人が「あー大男なのかなあー」って思ってびっくりして窓にとびのった。	それでぼうやが見てみたら、小人がにげてっちゃった。こわくて。	そしたら男の子が頭を上にあげたら、小人じゃなくて人形がびっくりしてにげていっちゃった。それで「窓からどこへいくんだい」と聞くと、人形が、「君がこわいからにげるんだ」というんだよ。人形しらないから、人間
3	そして夜、木の所でふくろうの鳴くのを聞いてた。	そしてぼうやが小人と一緒に木の枝にすわった。立ってるみたいな気がする。	そして何で僕は「こわいの」って聞くと、小人が「君をしらないんだよ」って言って「はく君をいじめたりしないよって」いうから「じゃいっしょにおいでよって」人形がいうから一緒に木の枝とこすわって何かはなしをはじめた。
4	そして朝になってこの子が「どこかに行こうよ」って、小人君にいった。	そいで明るい朝になった。それでぼうやと小人がうんとお散歩に出かけたおひるに。	そして朝が来た「わあーい朝だ」っていいながらこの男の子がお人形と散歩はじめた。
5	そして笛をもった小人がとんで来た。「あーもう一人小人がいるって」叫んだ。音楽するためにかなー。	そしたらもう1びき小人が来た。そして、ぼうやがうんと「あーもう1びき小人が来た」っておどろいた。	そしたらひとりまた人形が来た「あれなんで君来たの」って男の子が聞いた「僕も君の仲間に入るよ」っていったから一緒に仲間に入った。
6	「わー又だ何でとんで来たのかなー」って子どもは言った。	それでもう1びきもう1びきと沢山来た。それで「もう1びき沢山来た」ってさげんだ。このぼうやがなんで小人シンバルならしてんだね？	そしたらまた来た「あれなんで又来るのって」いったら、「君の仲間に入るよって」このまたオレンジ色の人形がいった。「ずいぶん遠くから来たなって」男の子がいったら「僕達の国から来たんだよ」って人形がいうから男の子はびっくりしちゃった。
7	子どもは「あらいっばい来る、ほら来た」といった。小人がシンバルをバンバン叩いたので「にぎやかだなー楽しいやー」っていった。	それで小人が沢山来た、ぼうやが「あーあんなに沢山いる」っておどろいたの、それで小人達が音楽始めた。	そしてあっちからこっちから沢山小人が来たので、男の子はびっくりしてこんなにくさきいと「音楽でうるさいなって」いいながらみんなの人形みつめた。
8	それでまた音楽しながら行列した。	それで行列になった。それでにぎやかに音楽をしながらお散歩に出かけた。	そいで一緒に行列をしながら歩いて、この男の子が人形が先頭になった。
9	そしてまたまたとび上ろうとした。「何でかな？」って思った。でもこの子達は知らないでとんと森の方にいった。	それから小人はまたとび上った。「なんでとび上ったの」ってぼうやが聞いた「帰るんだよ」って小人が言った。	そうして行列になっているとき、小人がひとりふたり、3つ、4つ、5つってね、空に上ってった。「あれどうして上るの」って男の子が聞いた「帰るんだよ」って男の子に小人がいうから、一緒にこのお人形、先頭にして行列をして帰っていった。
10	そしてこの子は何でとんでっちゃったんだろうと思った。もう帰るんだと思って、また、森の方にいっちゃった。	それでもう空までとんでいって「あんなとこまでとんでる」ばくも空とべたらなあって考えるとところなの。	次から次へと小人が上に登っていくので、僕はこの男の子がさびしくなっちゃった。ずいぶんいい音楽だなんて思いながらみつめてたの。上を、その間に、この男の子の人形はだんだんと森に入って行っちゃった。
11	それでまた真暗な夜になった。そして小人は夜一人ぼっちになってシンバルを叩きながら、こっちの方へ帰った。	それでまた夜になってから小人は帰っていった。それでばく1人でさびしいなあと思ひながら考えた。	そしてまた夜になってからこの人形がこの男の子が寝てる時、人形が遠くの所に行った。
12	そしてまたこの子の家に来たので、この子はびっくりして「あーあの子なんだ」っていったので、その声を聞いて小人はにげようとした。	そしてまた窓から小人が入って来た。「君なぜ、かえったの」ってぼうやが聞いた「はく今帰って来たんだよ」それでぼうやは「またあしたあそぼう」っていった。	それでまた空から入って来て男の子が「君いつ来たの」っていったら、「今、来たんだよ」ってこのお人形がいった。
13	夕方になって朝いた小人がとんでたので、この子がびっくりした。	それで夕方来た小人がとんで来て、またばくも夕方あの子小人達と遊ぼうって考えた。	それから朝来た小人はいくつか来た、そしてこの子はいの人は大好きだと思ひながら窓あけてみていた。

そこで次の5つに分類して分析することにした。

- 単純に画面をつなぐ出だしの言葉としての“そして、そいで、そしたら、それから”等
- 前画面と当画面の話しが内容的に考えて、明かにつながりをもつような出だしの言葉としての“そして、そいでまた、それでもう、そしたら”等
- 前のいずれかの画面の記憶とつながりをもたせている出だしの言葉としての“また、そいでまた、そいでもう”等
- “それで……”等という出だしの言葉は使っていないが、次の画面への話しが続いているもの。
- 当画面についてだけの話しをしているもの。

以上の分類を見ると各画面がストーリーとしてつながっているという絵本理解の深まりは、b, c, d においてははっきりと見られる。

全幼児の a, b, c, d, e をすべて数えあげ、そのトータルを求め、その表から1回目から3回目の b, c, d,

表 I

		表 I													b, c, d の総計
回	分類	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	
		5	6	7	4	4	4	4	8	9	1	7	8	3	65
I	a	3	5	4	2	4	4	1	3	0	2	2	6	3	56
	b	1	0	1	3	0	1	1	0	0	0	0	0	7	
	c	3	2	0	3	0	3	0	0	0	2	0	0	13	
	d	0	0	0	0	4	0	2	0	1	1	2	3	23	
	e	3	4	4	3	7	6	1	5	1	7	7	2	50	
II	a	6	3	7	7	3	5	5	7	3	4	5	8	63	90
	b	1	0	1	2	1	0	0	0	0	0	1	6	21	
	c	2	5	0	0	1	1	6	0	5	1	0	0	21	
	d	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	4	
	e	2	2	2	2	4	3	1	3	0	5	5	3	32	
III	a	7	6	7	7	6	7	3	6	2	2	6	8	67	107
	b	1	0	2	2	1	0	0	2	0	0	0	0	8	
	c	2	3	1	1	0	2	8	1	0	3	1	0	32	
	d	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	1	4	
	e	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	1	4	

だけの数を比較すると表 I となり、ストーリーとしてつながっているという理解は飛躍的に深まり3回目には1回目の2倍にも達していることが明らかとなった。

〔2〕 幼児の心情表現による絵本理解の深まりについて、画面に描かれた対象の単なる指摘からその対象が“おどろいた、びっくりした、さびしくなっちゃった、にぎやかで楽しそうに”という風に幼児が感ずる心情の言語表現が加えられることにより、理解の深まりを知ることができる。

①各画面別心情表現回数を全幼児について示すと表 II になる。この表から明らかなように1回目で心情表現の数が10であるのに3回目では22と2倍以上にもなっているし、6画面7画面で心情表現が数多く現われていることも意義深い。

表 II 各画面別心情表現回数

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	計
I	1	2	0	0	1	0	1	0	1	1	1	1	10
II	1	2	1	0	1	2	3	0	0	1	1	0	12
III	1	0	3	2	2	6	4	1	0	2	0	1	22
計	3	4	4	2	4	8	8	1	1	4	2	2	1

表 III

心情表現	I	II	III
びっくりした	4	2	8
おどろいて	1	2	
楽しく	1		1
おもしろいことして	1	1	1
寒くなったから	1		
涼しかった			1
わあ、あら、あれ	2		4
うるさい		2	2
うれしがら、ようこ		2	
こわい	1		
すごい	1		
さびしい	1		
きれいだった			1

②心情表現の言葉に関し全幼児について見ると表 III になる。人形が窓にのったり、木に登ったり、空から楽人が笛を吹いておりて来たり、子どもにとってはおどろくことばかり。“びっくりした、おどろいた”が総計17にもなり“わあ・あれ・あら”も同じおどろきとするならば $17+6=23$ にもなる。子どもはこの絵本を現実と余りにもかけはなれた空想的、幻想的な物語りとしておどろきの感情で感じとっていることがこの結果からはっきりと示されている。

③“楽しく”という心情表現は2つしか見当たらないが、“楽しく”がおどろきの背後におしやられ、それを“音楽して”“楽隊して”等で表現していると考えことができる。

〔3〕 この絵本で作者谷内こうたのねらうもの、それは子どもが絵本を通して感じとる音楽的世界の自由な連想的、幻想の世界であった。それを幼児の言語表現と結びつけて考察する。

①ねじまき人形の知覚に関連した言葉は(ねじ、ゼンマイ、ねじまき人形)1回目2名、2回目2名、3回目4名と増してはいるが総じて少ない。しかし人形の手に持つシンバルについては3画面あたりから次第に認識し、6, 7, 8 画面になると擬音なども交えて音楽の世界を楽しく繰り広げている。

②画面構成の上で音楽の世界が一番のひろがりが高揚をもつ画面は7画面(見開き頁)である。ここでは“シンバル、ピアノ、オルガン、笛、ラップ、タイコ、小ダ

表 V

No.	氏名	性	画面	1 回目	2 回目	3 回目
1	H.N	♀	①	この子が寝たら、なんかお人形さんが動いてた。窓あけっぱなしだった。ここからお人形さん入って来た	この子が寝てたら窓あけてお人形さんが来た。	はじめは遊んでてもう疲れちゃったから寝て、窓あけっぱなしにしていた。このお人形で遊んでたら寝むくなっちゃって寝ちゃった。窓あけっぱなしで寝ちゃった。
2	I.K	♂	③	そして僕をつれて来て木にのっかって遊んだ。	それで木にのぼってつれてってもらった。「暗くて寒いよ」っていうたの「じゃもっとあったかい国につれて行ってあげる」っていうた。	それでバーンバーンってたたいて歌とか教えてもらった。それでばくもおもしろくなって「歌をもっと聞きたい」といったら、「お月様のところへ行こう」って言ってつれてってもらった。
3	A.H	♀	⑦	それでこんど3人来ていっぱいになっちゃった。	それでみんないろんなお洋服着た子ども達が笛ふいたり、ピアノやったり、タイコやったり、いろんな楽隊してた。	それでいろんな色のお洋服着た子ども達が、おどったり、楽隊したり、いろんなことして遊んだ。
4	I.K	♀	②	そして小人が「あー大男なのかなー」と思ってびっくりして窓にとびのった。	それでぼうやが見てみたら、小人がにげてっちゃった。こわくて。	そしたら男の子が頭を上にあげたら、小人じゃなくて、人形がびっくりしてにげていっちゃった。それで「窓からどこへいくんだい」と聞くと、人形が「君がこわいからにげるんだ」というんだよ。人形じゃないから、人間。
5	G.K	♀	③	お人形がこの子を木の上につれていった。	それでこの人がこの子に木の上につれてってあげた。	それで風がこの2人を木の所までつれてってあげた。
6	M.Y	♂	⑧	そいで「こっちにおいで」っていうた。「音楽の国につれてってあげるよっ」と言った。	そいで帰る日だったから、さようならした。	そして歩いていった。
7	I.M	♂	⑤	そうしたら人が空から落ちて来た。それで2人は見た。	それで空の方から、またちがう人形がやって来ました。男の子は、それを見ました。人形もそれを見ました。	ひとりの小人がまたひとりやって来ました。笛をふきながらやって来ました。小人と男の子はそれがどうしてやって来たのかを見ていました。
8	Y.N	♂	③	そうして寝てる子どもと同じ人形が動いて、小人の人形と木に登った。そしてお星様とかお月様みた。	そうして子どもと一緒に木に登って空をみてた。	そうして、2人で夜のお散歩にいった木の上にね。なんか月をみて
9	I.N	♀	③	木の上で何やってんのかな？ 何してるのかわからない。音楽やってるのかな？ 一人で音楽やってるのかな？	おもちゃと男の子は木に登ってシンバルをたたいています。	男の子とおもちゃの人形は木に登って、おもちゃの人形がシンバルをたたいています。
10	N.K	♀	⑨	そうして、お人形達がまたとんでいった。	だんだんだんだん空にまたこういうふうに戻っていった。	だんだんその一番うしろにいる人達がピンクやオレンジや黄色や緑や青の人達がみんな空に舞い上っていく。
11	K.N	♀	③	木に人形が登っている。	それで男の子と人形が木にすわった。	そして木に登った。子どもと人形と一緒にその時は夜だった。
12	I.Y	♀	⑧	そいでみんな並んで音楽やった。	それでみんな一緒に歩いていった。	それでみんな並んで歩いていった。

イコ、トランペット、クラリネット”と楽器名を言語表現しているが、トロンボーン、サキソフォン、バンジョーを指摘する子どもは一人もいなかった。その原因はこれらの楽器が子どもの生活にあまりなじみのないものだという事と、画かれた楽人とその持つ楽器が極めて小さく淡い色彩で描かれていることなどと関係があるように思われる。

③6画面から8画面を通して合奏する様子をあらわす言葉として“音楽をはじめた。音楽やった、楽隊した”などの表現が多くつかわれているが、1回目7名それが2回目3回目は12名全員の子どもがそうした言葉をつかっている。

〔4〕画面ごとに見た描かれた対象相互間に関する言語表現の深まりについて

描かれた対象相互に関連させた言語表現を画面ごとに見ると、ある幼児は1回目は描かれている状況を細部にわたり羅列的に述べ、2回目になると1回目気づいたことをふくらませて表現し3回目は整理されて言語表現は簡単になるが描かれた対象相互にかかわりを持たせた言語表現をしている。このような深まりの状況は種々であるが12名中10名は1回2回3回と順次深まりを見せ、2名は変化はなく話しの積み重ねがない。

表Ⅳ

幼児	I	II	III
1 H.N ♀	A → B ⊕ (A) → C ⊕ C → ABC ⊕	A → B ⊕ C → C ⊕ (A) → C ⊕	AB → C ⊕ C → AB ⊕ AB → ABC ⊕
2 I.K ♀	0	0	0
3 A.H ♀	A → B ⊕ (A) → B ⊕ (A) → (B) ⊕ (AB) → C ⊕ C → D ⊕ G → G ⊕ D → (A) ⊕ A → (B) ⊕	A → B ⊕ C → D ⊕ A → B ⊕ D → (C) ⊕ (A) → (B) ⊕ (A) → C ⊕ (AB) → C ⊕	(A) → B ⊕ B → D ⊕ AB → C ⊕ B → (A) ⊕ C → C ⊕ C → D ⊕
4 I.K ♀	A → B ⊕ B → A ⊕ A → D ⊕ (B) → A ⊕ A → (C) ⊕ B → (A) ⊕ AB → C ⊕ (C) → (A) ⊕	A → B ⊕ B → A ⊕ A → (B) ⊕ D → B ⊕ A → C ⊕ A → (C) ⊕	A → C ⊕ B → A ⊕ A → (C) ⊕ C → A ⊕ A → B ⊕ C → AB ⊕ (A) → (B) ⊕ (C) → AC ⊕ (A) → (C) ⊕ D → B ⊕
5 G.K ♀	B → A ⊕ B → (A) ⊕	B → A ⊕ A → C ⊕ B → (A) ⊕	A → B ⊕ B → C ⊕ B → (A) ⊕ AB → (C) ⊕
6 M.Y ♀	A → B ⊕ B → A ⊕ (A) → C ⊕ C → A ⊕ AB → C ⊕	A → B ⊕ B → A ⊕ C → C ⊕ BA → C ⊕ (B) → C ⊕	A → B ⊕ B → D ⊕ (A) → (B) ⊕ C → (AB) ⊕ AB → A ⊕ C ⊕
7 I.M ♀	A → (B) ⊕ A → C ⊕	A → B ⊕ B → AC ⊕ A → C ⊕ AB → (C) ⊕ A → (C) ⊕ (B) → (A) ⊕ (A) → (C) ⊕ B → A ⊕ B → (C) ⊕	A → B ⊕ AB → (C) ⊕ A → (B) ⊕ A → C ⊕ AB → C ⊕ AB → (C) ⊕
8 Y.N ♀	AB → (B) ⊕	0	2
9 I.N ♀	0	1	3
10 K.K ♀	0	0	2
11 K.N ♀	A → (CB) ⊕ 2 → C ⊕ C → B ⊕ B → B ⊕	A → B ⊕ B → AC ⊕ (AB) → C ⊕ AB → C ⊕	A → B ⊕ C → B ⊕ A → C ⊕ C → C ⊕ AB → A ⊕
12 I.Y ♀	AB → B ⊕ C → D ⊕ AB → B ⊕ C → C ⊕ (AB) → C ⊕ 2 → C ⊕ (B) → D ⊕ (B) → A ⊕ (BD) → A ⊕	B → (A) ⊕ B → (C) ⊕ (B) → (A) ⊕ C → D ⊕	A → (B) ⊕ C → AB ⊕ A → C ⊕ B → (A) ⊕ B → A ⊕ C → C ⊕ C → A ⊕
合計	49	62	83

※ A-子ども B-おじまき人形 C-楽人 D-窓、木、空

1、2、3、12、13画面において、ファンタジーの世界の入口、出口として描かれている窓、木、楽人の存在として意味のある上方向を(金具と発音)対象とする

この状況を全体としてまとめると表Ⅳに見られるように1回目は49、2回目は62、3回目は83と対象相互間に関する言語表現は順次増し、1回目と3回目では2倍近い数となっている。

〔5〕幼児の絵本理解の深まりを〔1〕〔2〕〔3〕〔4〕の観点から検討したが、幼児の話すどんな言葉もみな全体との深いつながりの中で一語といえどもおろそかにすることができない程の重みをもっている。そこで具体的な言葉を示しながら12名の幼児のひとりびとりの画面に対する言葉の中からその幼児の特徴を示しているようなものを選び出し、それぞれの絵本理解の深まりの様相を考察する。

①H.N 画面1に代表されるように、1回目はごたごたした表現が2回目は簡略化され整理された表現となり、3回目は時間的経過の説明を加えながら対象の動きの表現が豊かになっている。

②I.K 画面3に代表されるように、1回目の単純な表現が2回目は対象相互の会話的やりとりへと発展し、3回目は主体を明確にしながらか空的表現、さらにはストーリーと予想し次への画面へのつながりをもたせる表現をも加えている。

③A.H 画面7に代表されるように、1回目は素朴な簡略化された表現が、2回目は対象個々の特徴的表現に移行し、3回目にはそれを一般化の方向で表現している。

④I.K 画面2に代表されるように、1回目は対象をまず情緒的にとらえ、2回目はその理由をのべ、3回目にはその理由づけを順をおって状況説明している。

⑤G.K 画面3に代表されるように、1回目は説明がうまくいかず、2回目は“この子がこの子に”などと不明確な表現をしていたものが、3回目には子どもの論理を通すために、“風が2人を”という判断へと導いている。

⑥M.Y 画面8に代表されるように1回目に空想的なひろがりが見られはじめたのに、2回目3回目と次第に言葉が簡略化されているが前画面とのかかわり合いの中で必然性のある簡略化とみることができる。

⑦I.M 画面5に代表されるように、1回目の大雑把な表現が2回目3回目と物語り口調へと変化し、それが一本調子ではなく問いかけなどという技巧も加えられている。

⑧Y.N 画面3に代表されるように、1回目は対象の同一性を確かめるような表現が2回目になると一般化し、3回目には副詞句を文の終りにつけ語り口調よろしく表

現されている。

⑨ I. N 画面3に代表されるように、1回目は知覚対象の動きの理解に疑問をなげかけ自問自答していたものが、2回3回目には簡略に筋道をたてた表現へと移行している。

⑩ N. K 画面9に代表されるように、1回目2回目の大雑把な表現が3回目になると知っている色の名称を羅列的にあげることによって、この子なりに話しにふくらみをもたせている。

⑪ K. N 画面3に代表されるように、1回目に簡単に、2回目には対象をはっきりととらえ、3回目には動詞と主語を転置し最後には、“その時は夜だった”というように時間の流れで語りをしめくくっている。

⑫ I. Y 画面8に代表されるように、1回2回3回と平板で簡略な表現をかえない傾向を示している。

結 語

本研究では、研究目的、方法そして手続きで述べたように、実験者は被験児に対して一切発言せず、幼児の物語りを録音再生して結果を分析した。この種の研究を他に求めたが得られず、品詞分析の方法も考えてみたが、国語学的立場はあえてとらなかった。

本研究で知り得たことは

① 幼児の言語表現のどんな言葉（語彙）もみな幼児なりの論理的必然の中で使われているということ。（表Ⅳ参照）

② 幼児の知覚の精細化、記憶再生、生活経験との複雑

なからみ合いを基盤として、1回2回3回と回を重ねるごとに言語表現が整理され簡略化と一般化そして分化、会話の挿入、言葉の倒置などたくみに取り入れ、物語口調にまで発展させる幼児もいるということ。

③ もし幼児保育の場において絵本を見せる良い指導とかわりをもたせるならば、その効果は見るべきものがあるであろうということ。

④ この実験では1、2画面右頁の「じいー」、11画面左頁の「かちっ」という文字を消して幼児に見せ、絵の世界だけで幼児の夢がどのようにふくらみ、理解しそれが深まるかについて幼児の言語表現を通して見ようとしたものである。その結果、至極当然のことながら、「幼児により美しい絵本を」「良いものはなんども見せよ」ということを確認し得たということ。そのことはひいては保育環境の美的統一の必要性にもつながっていくのであり、谷内こうた作『ぼくだけのにんぎょう』を使っての研究を通して、保育環境でいつも幼児に無言で語りかける絵画的世界の重要性にもつながっていくことを知り得た。

参考文献

- 1) 村田孝次：幼児の言語発達 培風館 '70.11.30
- 2) 桜井茂治・春日正三：国語表現法要説 双文社 '73.3.10
- 3) 松本 猛：絵本的表現の分析 月刊絵本 すばる書房 '76.4月号、5月号、6月号、8月号、9月号、11月号、'77.2月号。